

主催：BM子ども相談室（第10回勉強会）

後援：武蔵野市民社会福祉協議会・武蔵野市国際交流協会

多言語環境での子育ての「ことば」

ワークショップ3

奥村 安寿子

Okumura, Yasuko

（広島大学 人間社会科学研究科 日本語教育学プログラム）

お願い

ワークショップの資料を他所で共有したい場合は、
必ず事前にご連絡下さい。

講師：y-okumura@hiroshima-u.ac.jp

事務局：bmkodomonet@gmail.com

Special thanks go to...

森田はぐみさん（イラストレーター）

ワークショップの事前学習パンフレットのために、とても
素敵なイラストを描いて頂きました👏

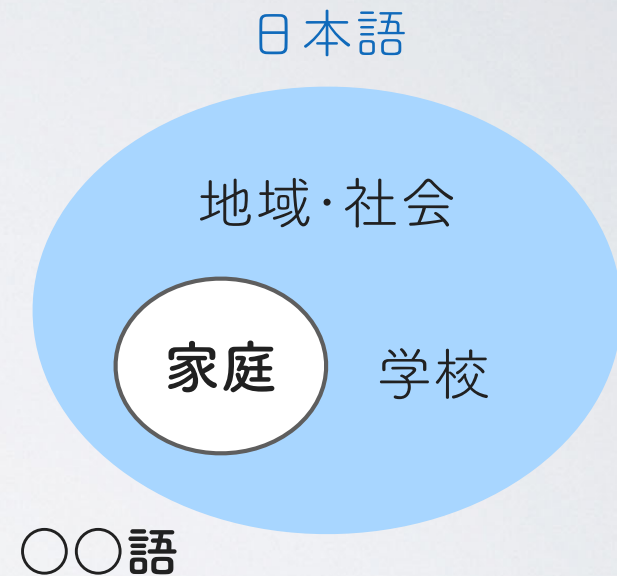
本日のスライドでも登場しますので、お楽しみに！

<https://www.hagumimorita.com/>

はじめに

多言語環境の子どもの「ことば」

- 多数派言語 → 学校, 地域, 社会
- 少数派言語 → 家庭のみ



ワークショップのテーマ

- 主に家庭でのみ使用される言語（母語・第1言語）を,
- 豊かに育てていくには, どうしたら良いか?

はじめに

ワークショップ1 2022年3月6日

- 家庭ができること， 幼稚園／保育園ができること
- 家庭（母語）， 園（日本語）， 両方（就学の準備）

ワークショップ2 2023年3月12日

- 毎日の関わりで， 子どもの「ことば」を豊かにする
- 子どもの「ことば」を引き出ししながら， 会話する

今日の話

ワークショップ3

- ことばと記憶の仕組みを知る（再生と再認, 心的辞書）
- 子育てに適した言語を考える

• 10:00～10:20 講義

• 10:20～10:50 グループワーク Zoom：情報交換おしゃべりタイム

• 10:50～11:10 Q&A, 振り返り

ことばと記憶の仕組み

再生と再認

1. 2日前の朝、なにを食べましたか？
2. 2日前の朝に食べたのは、パンですか？ ご飯ですか？

再生 記憶した物事を、自ら検索し、思い出すこと。

再認 記憶した物事が、再び現れたときに分かること。

➡ 一般的に、再認の方がやさしい。

ことばと記憶の仕組み

子どもの「ことば」を引き出す

再生

どっちで
遊ぶ？



こっち！

車で遊ぶ？
飛行機で遊ぶ？

再認

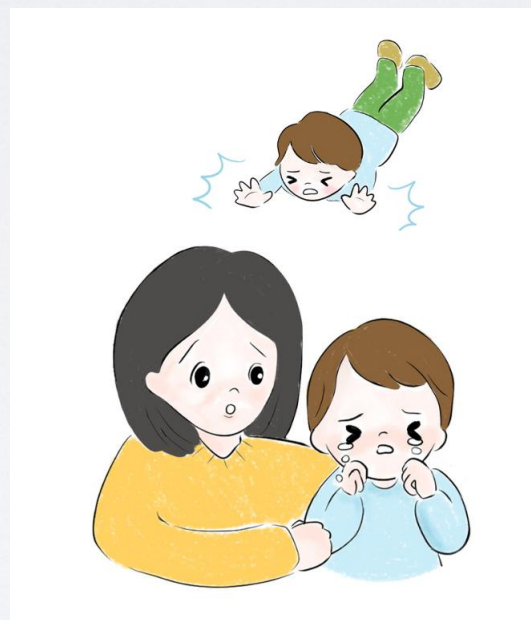
ひこうき！！

ことばと記憶の仕組み

子どもの「ことば」を引き出す

どうしたの？

再生



...

転んだの？
痛かった？

再認

ころんで
いたかったー

ことばと記憶の仕組み

再生と再認

- 子どもは、たくさんのことばを記憶している。
- 記憶中のことばを、自ら引き出して使うことは難しい。

表出語彙（自ら使える） < 理解語彙（聞いて分かる）

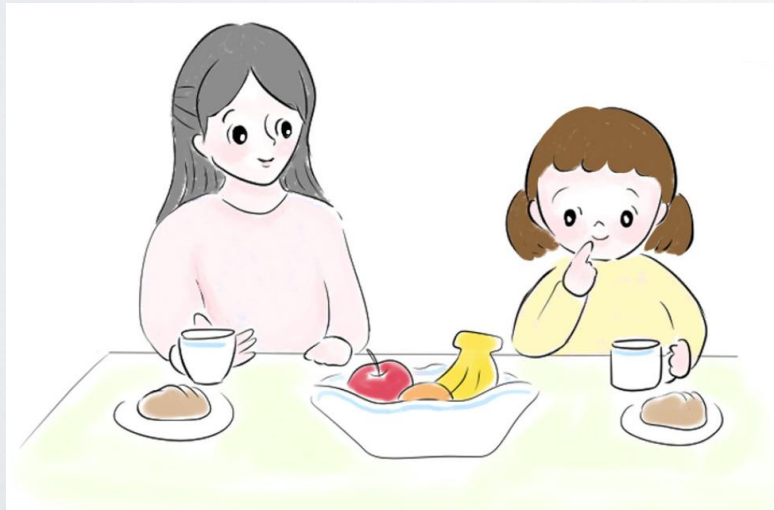
- 大人が、やり取りの中でことばを自然に示していくと、子どもは再認して、自ら使いやすくなる。

注) 先回りして言うのではない

ことばと記憶の仕組み

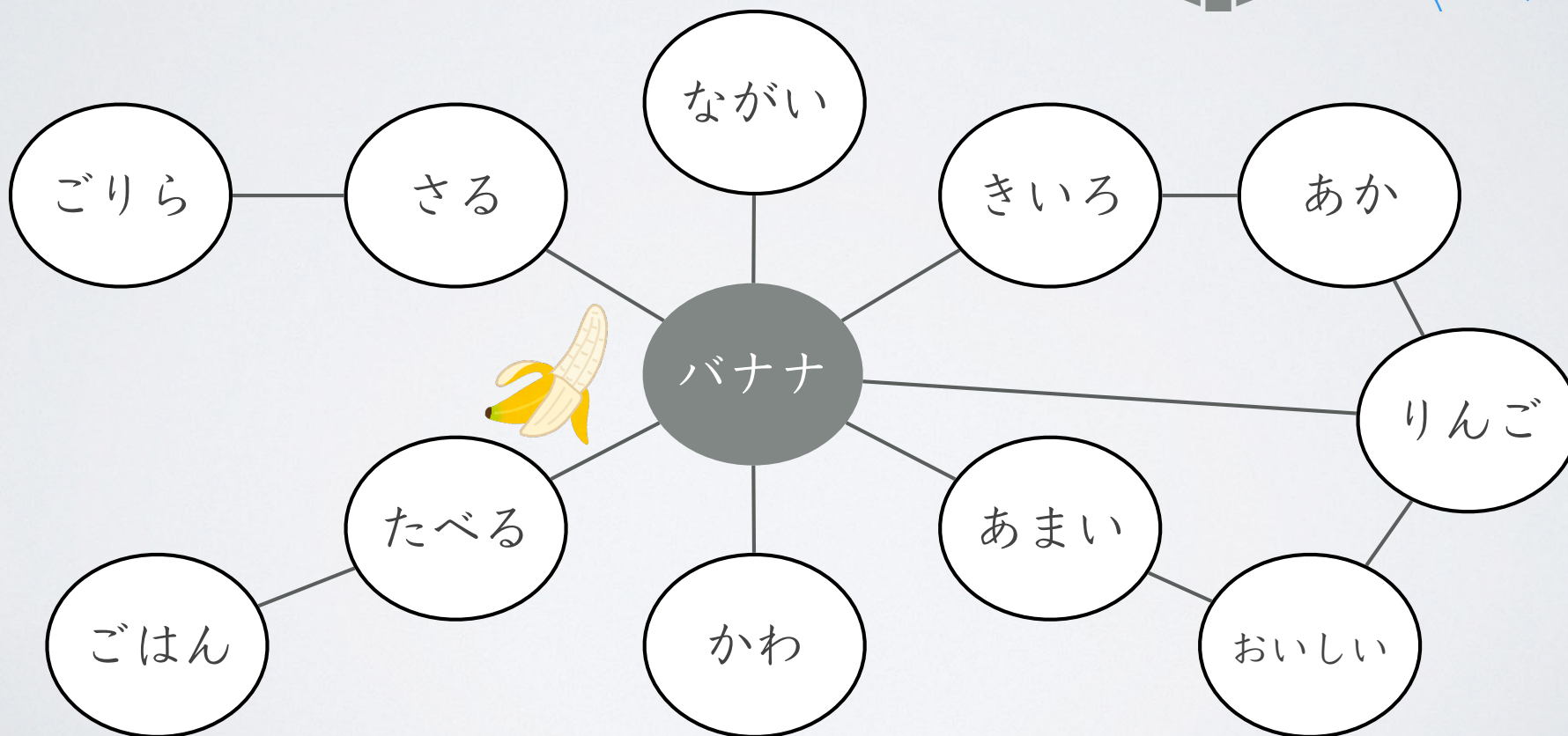
心的辞書

- ・ バナナとは何か，どんなものか説明して下さい。
- ・ ちょうちょとは何か，どんなものか説明して下さい。



ことばと記憶の仕組み

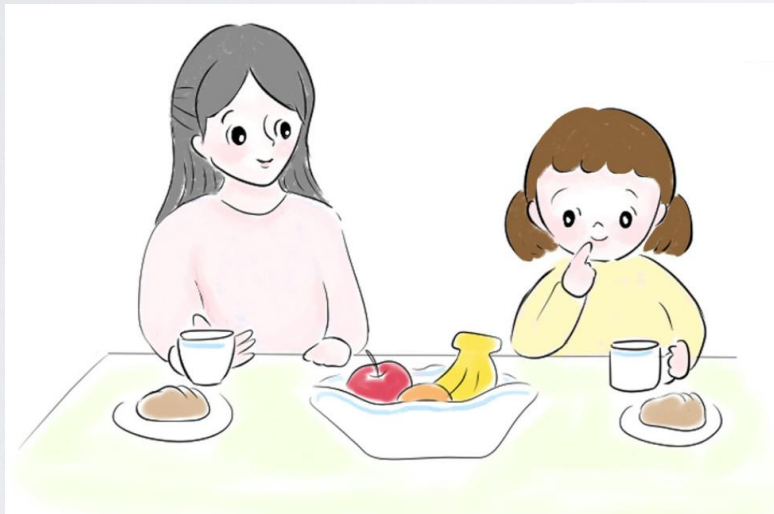
心的辞書



ことばと記憶の仕組み

心的辞書

単語と単語の「つながり」を作っていく，引き出す。



「パン！」

「パン 何個 食べる？」

「ちょうちょ！」

「ちょうちょ が とんでるね」



ことばと記憶の仕組み

心的辞書

- 単語は、他の単語と様々に結びついて蓄積される。
- 単語と単語の豊かなネットワークが、意味の理解や文を作ることの土台となる。

- 個々の単語を知っている ≠ 単語をつなげて使える
- 単語と単語のつながり、結びつきに接することが必要。

主名詞＋動詞， 名詞＋形容詞， 助詞でつなぐ， ○○の仲間...

ことばと記憶の仕組み

まとめ

子どものことばを引き出し，豊かにするヒント

1. ことばを引き出しやすいのは，再生よりも再認。
2. 単語と単語が豊かにつながった心的辞書を育てていく。

例) オープンクエスチョン → 選択肢の提示

子どもの1語文 → 大人がモデル文を示す

子育てに適した言語

ここまでの話から

- 子どもに，多くのことばを提示できるのは？
- 様々なことばのつながりを，豊かに提示できるのは？
- ➔ 保護者自身が豊かに，自然に使える言語

- 保護者の母語（第1言語）であることが多い。
- 子ども，家族全員の「ことば」も考えることが大切。

子育てに適した言語

どんな「ことば」が良い？

保護者，子ども，家族の**全員**が，

- 自信を持って使える「ことば」
- 安心して使える「ことば」
- 豊かな経験，思い出を伴う「ことば」
- 多くの内容，メッセージを伝えられる「ことば」
- 気持ちや感情をしっかりと伝えられる「ことば」

子育てに適した言語

どんな「ことば」が良い？

- 一番 **たくさん** 話せるのは () 語 / 弁
- 一番 **楽しく** 話せるのは () 語 / 弁
- 自分の **気持ちを** 話せるのは () 語 / 弁
- 家族と **話したい**のは () 語 / 弁

➡ 1つの言語に絞る必要はない。

この時は〇〇語, この人とは〇〇語, Aをするときは〇〇語...

子育てに適した言語

どんな「ことば」が良い？

- 保護者と子ども，家族で一致した場合は，その言語でたくさん話し合う，語り合う，読む／読み聞かせる。
- 一致しない場合は，家庭の「ことば」について話し合う
要望や理由を伝え合う，言語の使い分けや使用場面を考える...
- 子どもの成長に応じて，家庭の「ことば」を見直す。

グループワーク

グループワーク

テーマとねらい

1. 子どもの「ことば」を引き出す

➡ 子どもが使えるような単語を、やり取りの中で提示する

2. 「ことば」と「ことば」のつながりを示す

➡ 子どもが発した単語に動詞、形容詞、助詞などを加えモデルになる文、表現を提示する。

グループワーク

内容

- 大人役（参加者），子ども役（相談員）になる。
- 子ども役は3～5歳くらいの想定。
- 大人役→子ども役に話しかけることからスタート。
- 子ども役の反応を受け，大人役はやり取りの中で「ことば」を提示したり，子どもの発言を膨らませたりする。

グループワーク

話題例

- 今日の夕食を決める（今日の夕ご飯，何がいい？）
 - 一緒に作るお菓子を定める（今日は，何を作りたい？）
 - 休日に行く場所を決める（今日，どこに行きたい？）
 - 園での出来事を聞く（今日，幼稚園／保育園で何をした？）
- ➡ 大人役が，カッコ内の問いかけからやり取りを始める。

グループワーク

使用言語

- 基本：自分自身が、最も使いやすい言語

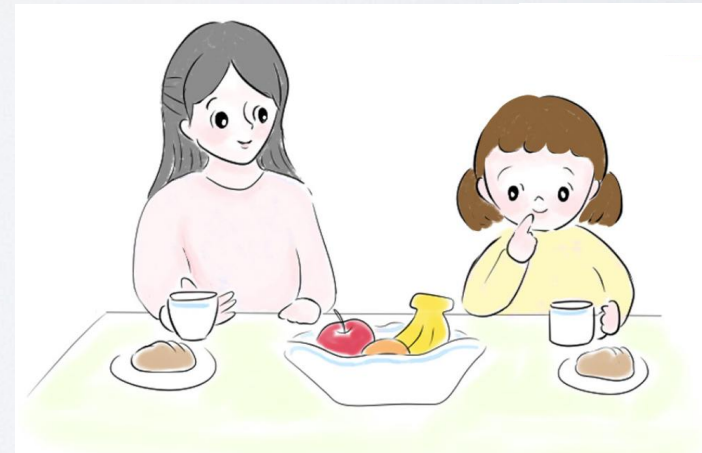
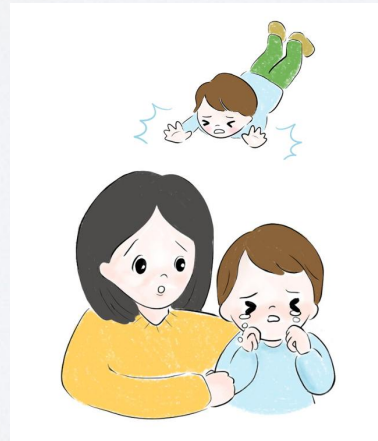
申込時の情報から、日本語・英語のグループを設定しています

- 日本語以外の言語、自分の母語（第1言語）ではない言語で、使ってみたい言語で試みても良い。

グループワーク

ポイント：子どもとのやり取りの中で、

- ① 単語を提示する。
- ② 特に、気持ちや感情をことばにするのを助ける。
- ③ ことばとことばをつなげて、表現するのを助ける。



グループワークの振り返り

感想

- グループワークで、どんな工夫をしましたか？
- 日頃の会話、やり取りと同じところ、違ったところは？

グループワークの振り返り

会話例

子ども 「バナナ（が食べたい）」

養育者 「バナナが食べたいのね。」

「|本全部食べる？それとも半分？（切る動作）」

子ども 「半分」

養育者 「じゃあ半分に切るよ。皮はむく？」

子ども 「むく」

養育者 「はい、どうぞ。自分でむけるかな？」

グループワークの振り返り

会話例

養育者 「今日の夕ご飯，何がいい？」

子ども 「…」

養育者 「ハンバーグがいい？それとも，唐揚げがいい？」

子ども 「ハンバーグ！」

養育者 「じゃあ今日は，ハンバーグを作ろうか。」

「いっしょに，ひき肉をこねてくれるかな？」

子ども 「こねる！」

まとめ

子どもの「ことば」を引き出し，豊かにする

- 「教える」ではない。
- 「先回りして言う」でもない。
- ➡ 保護者や大人との楽しい会話，やり取りが大前提。
- 自然に「ことば」に触れる，「ことば」が出てくる，「ことば」を使いたくなる工夫を！
- それができる言語で，自身を持って子育てをする。

まとめ

子どもの「ことば」を引き出し，豊かにする

- 主に家庭でのみ使用される言語（母語・第1言語）を，
- 豊かに育てていくには，どうしたら良いか？



- 日々のやり取りを，
- 「少しだけ」工夫・意識・見直して，
- 接触，使用の量と質を上げていく。

